

徳島県総合計画審議会「若者クリエイト部会」議事要旨

I 日 時 平成30年5月11日（金）午後3時30分から5時まで

II 場 所 徳島県庁4階 403会議室

III 出席者（敬称略）

【委員】 10名中8名出席

青木正繁（部会長）、近藤明子（副部会長）、
上田ゆりえ、近森由記子、松本卓也、池添純子、竹内祐介、村松享

【オブザーバー】 10名中6名出席

吉野信吾、吉田寛子、河内健、新居美咲、富田理香、木内一恵

【県】

総合政策課長 ほか

IV 次 第

1 開 会

2 議 事

（1）新たな総合計画の策定方針について

（2）その他

3 閉 会

V 配付資料)

- ・次第
- ・委員名簿
- ・資料1 新たな総合計画の策定方針について

VI 議事

1 新たな総合計画の策定方針について

事務局から資料1「新たな総合計画の策定方針について」に基づき説明があった後、意見交換が行われた。

（青木部会長）

説明のとおり、若者クリエイト部会としては、メンバーが「タスクフォース」の一員となり、各圏域で開催される対話型集会「フューチャーセッション」に参加して、高校生をはじめとする若い世代の方の意見を引き出し、若者意見を集約していく。

その上で、そこで出された若者意見に、当部会メンバーの意見も反映し、「徳島の未来像」や「施策の方向性」について、提案を行うとのことである。

ここまでの説明で質問があれば、質問をどうぞ。

(近藤副部長)

「フューチャーセッション」等が出された意見を取りまとめたものは、いつ各委員へ提供されるのか。

(事務局)

学生アンケートは、5月下旬から6月中旬頃まで実施予定である。

フューチャーセッションは、7月上旬頃に開催予定である。

取りまとめができれば、迅速に各委員へご提供予定である。

(近藤副部長)

「フューチャーセッション」については、参加できない委員もいることから、最終形としてまとめたものでなくてよいので、早めに提供いただきたい。

(事務局)

検討材料とできるよう、ある程度整理をして、できるだけ迅速にご提供して参りたい。

(竹内委員)

4年前にも、若者クリエイト部会としての提言をグループに分かれて作業を行ったが、どの内容が最終、計画にどう反映されたのか、フィードバックがなかったと感じている。今回実施する「フューチャーセッション」についても同様であり、結果をフィードバックしていくべきで、それをしないと協力してくれなくなる。

また、前回より、まとめる日程もタイトであることから、グループに分かれて作業するのは難しいのではないか。

「フューチャーセッション」の意見を、若者クリエイト部会でとりまとめる必要性はあるのか。

(事務局)

フィードバックについては、事務局としても認識しており、100%とはいかないかもしれないが、部会長、副部長ともご相談しながら、できるだけ対応していきたい。

「フューチャーセッション」については、出てきた生のご意見を事務局で整理して、ご提供する予定である。その後、若者クリエイト部会では、そういったご意見を踏まえつつ、将来像、先の目標を見据えてどうしていくか、施策や取組の方向性についてご検討いただきたいと考えている。

(近森委員)

「フューチャーセッション」で出た意見を一旦持ち帰るのではなく、そのままタスクフォースで内容をまとめていってはどうか。

グループごとにまとめていくというやり方は変えたほうがよいのでは。

(池添委員)

「フューチャーセッション」については、東部・南部・西部で1回ずつ開催するのか。

(事務局)

「フューチャーセッション」は各圏域1回ずつの開催を予定している。高校生が30名程度、そこに有識者等が集まり、若者が考えているイメージを引き出すような、若者のアイデアを抽出していくことができるような内容で開催していきたい。

若者クリエイト部会のメンバーにも、できるだけご出席をお願いしたいと考えているが、全員の方にご出席いただくことは難しいと思うので、その実施した結果を取りまとめたご提供し、情報共有できればと考えている

(近藤副部長)

分野ごとにメンバー分けをしても集まらない可能性がある。

各委員からの意見と高校生・大学生の意見を、若者クリエイト部会の部長、副部長でまとめて、7月の部会に持っていくのはどうか。

(青木部長)

皆さんのご負担も軽減できるよう考えたい。

(事務局)

4年前は、事業レベルの提案もいただいていた。

今回は、徳島の強みや弱み、未来像、その実現に向けた施策の方向性について、ご意見をいただければと考えている。ご負担もあるかと思うので、大きな所でまとめていただくような形で、ご検討をいただければという思いがある。

(竹内委員)

スケジュールについて、再度整理をしておきたい。

(事務局)

アンケート結果のご提供は6月中旬か下旬頃になると思われる。

セッションは、3回とも7月上旬に集中してくる可能性が高い。

(池添委員)

どういう前提で議論を始めるか、その基礎となる資料は必要であり、情報共有していただきたい。

セッションの後に、対面で話をしたほうがよいのでは。

(事務局)

基礎資料は、できるだけ集めて、ご提供した上でと考えている。

(吉野オブザーバー)

4年前の資料もあることから、そこから4年間でどういった進歩があったのかを読んでいくことも必要である。

(青木部会長)

データを共有して、セッションでまとめていくのがベストかと思う。

(村松委員)

取りまとめの際に、グループ分けするのは効率的な面もあればそうでない面もある。グループ分けするのではなく、一同に集まれる時に集まるのがよいのではないか。

(上田委員)

現時点では、分野等で分けずに、セッションで出た意見を吸い上げた上で、分類していったらよいのではないか。

(青木部会長)

皆様の意見をお聞きし、分野分け、グループ分けはしないこととする。

セッションまでには、メンバーの皆様にはまとめのイメージを持っておいていただきたい。

そのためにも、基礎資料やアンケート結果が揃い次第、事務局から各メンバーへご提供いただきたい。

(事務局)

セッション後に、どこまで時間を取れるかは現時点では未定である。

(池添委員)

セッションは平日にあるのか。

(事務局)

平日を予定している。

(近森委員)

(スカイプ等で) 中継をしてはどうか。

(事務局)

検討させていただきたい。

セッションの開催場所としては、学校を検討している。

(池添委員)

今回のクリエイト部会の作業としては、若者意見のとりまとめなのか。
委員の意見も踏まえたオリジナルなのか。

(事務局)

高校生等の意見、各委員の専門的知見も踏まえて、部会としてどうかというご提案をいただきたい。

(青木部会長)

基礎資料やアンケート結果の提供をいただき、取りまとめのイメージについて共通認識を持ちながらセッションを開催し、終了後に皆さんで取りまとめをしていきたいと考える。
その後、部会長と副部会長でまとめて落とし込んでいきたい。

(竹内委員)

柱立ては事務局と相談が必要である。
また、意見を出した後のフィードバックまで、若者クリエイト部会として整理しておく必要がある。

(事務局)

スケジュールとしては、今日の部会を踏まえて、アンケートやセッションを実施し、7月下旬頃に2回目を開催予定しているが、途中の開催等についても必要に応じて検討したい。
部会としての取りまとめ、その後も含めて、部会長とご相談しながら、再整理して、こちらから提示していきたい。

(青木部会長)

では、そのような形で進めていきたい。
その他意見はあるか。

(木内オブザーバー)

各圏域で行う「フューチャーセッション」は、全て高校で行うのか。

(事務局)

会場は各圏域とも高校で検討している。
ただし、その高校だけでなく、周辺の高校生の方にも参加いただけるよう調整している。
そこに地域の方々と一緒になって、ディスカッションをしていけたらと考えている。

(木内オブザーバー)

「フューチャーセッション」の会場には各自で行くことになるのか。

(事務局)

会場は現在調整中である。
できるだけ負担のかからないように検討したい。

(部会長)

最後に近藤副部会長、よろしくお願いします。

(近藤副部会長)

身近なところで、自分が問題と思っている課題と、その課題に対してどうすべきかという
ことをまず描いていただいたらよいのでは。

問題意識と将来どうあったらよいか、この分野に対してこんなアイデアがあるといった
ものを出していただけたらと思う。

(青木部会長)

ありがとうございました。
最後に事務局から何かありますか。

2 事務局説明

・会議録の公表については、事務局で取りまとめた上、皆様に確認いただいてから、発言
者名も入れて公開したい。

(以上)